



臨場

犯罪捜査のプロフェッショナル

都民の期待と信頼に応えるために



無線報告



現場

都内では、「強盗」、「性犯罪」、「特殊詐欺」、「侵入窃盗」など、私たちの日常を脅かす多くの事件が発生しています。警視庁では、これらの犯罪実態を的確に把握・分析するとともに、事件発生時には速やかに臨場し、最新の捜査手法を駆使するなど、事件の早期解決に向け、迅速かつ的確な捜査を強力に推進しています。



事件解決に向けて情報提供を呼びかけ

犯人逮捕のためご協力をお願いします

「公開捜査一覧(発生年)」は
こちらをご覧ください。



捜査特別報奨金制度
(公的懸賞金制度)について、
詳しくはこちらをご覧ください。



防犯カメラ画像の収集



聞き込み



検挙

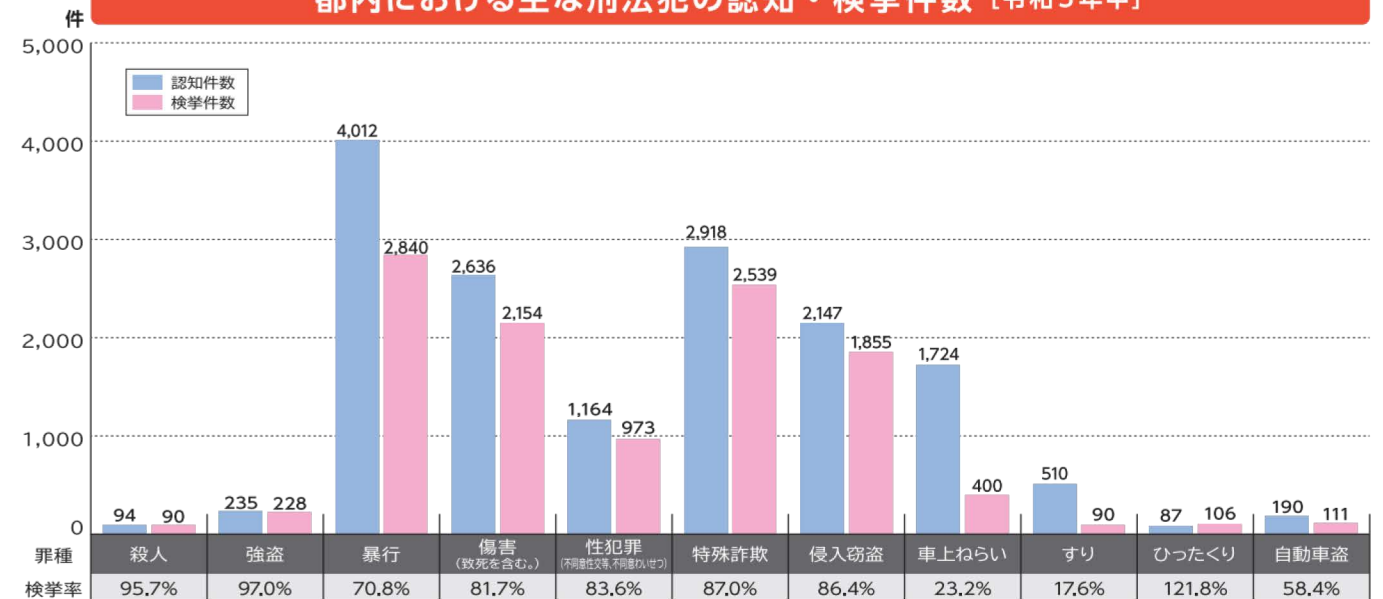


取調べ

都内における刑法犯の認知・検挙状況(令和5年中)

令和5年中、都内では、8万9,098件の刑法犯事件(交通事故事件を除く。)を認知しています。また、主な刑法犯の検挙率は、殺人95.7%、強盗97.0%、侵入窃盗(空き巣、出店荒しなど)86.4%などとなっています。

都内における主な刑法犯の認知・検挙件数〔令和5年中〕



※ 特殊詐欺とは、犯人が電話やメール等で親族や公共機関の職員等を装って、現金や電子マネー、キャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金を受け取れるなどとだましてATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪のことです。

※ 検挙件数には、当該年における認知事件だけでなく、前年以前に認知した事件の検挙が含まれることなどから、検挙率が100%を超える場合があります。